

令和4年度(2022年度) 臨時政策会議の概要

令和4年度(2022年度)臨時政策会議の主な内容は以下のとおりです。

番号	案件名	内 容	主な意見	審議結果	部局名
1	暮らしやすさ向上プロジェクトの全体方針について	市民がより暮らしやすい環境を実現するため、子育て(多様な子育てニーズへの対応)、教育(官民連携で教育を支える体制構築)、福祉(地域共生社会の実現)等、従来のサービス提供モデルを変革し、個人にとって最適なサービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の特色や取組み内容を見える化すること。 ・事業の実施にあたり、各分野で綿密な連携を図ること。 	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組みを進める。	都市経営部 経営計画課 こども未来部 教育委員会事務局 福祉部
2	働く世代からの認知症予防事業と認知症医療に対する地域医療体制の構築	コロナ禍の活動機会縮小に起因する認知機能の低下に対応するため、若年層や40代以降の働く世代に重点を置いた認知症予防事業を実施する。	認知症患者本人だけでなく、その家族を含めた包括的な支援体制を整え、介護・医療連動型の認知症施策を進めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取組みを進める。	健康医療部 コロナ健康支援課 健康政策課

番号	案件名	内 容	主な意見	審議結果	部局名
3	人材確保のための職場環境整備に係る補助制度の創設	市内事業所の雇用及び就労の促進を図り、域内産業の活性化へつなげるために職場環境整備に係る経費への補助制度を新設する。	より多くの事業者を活用してもらえるよう制度周知に努めること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	都市活力部 産業振興課
4	校内教育支援センターの充実(校内の別室を活用した支援の充実)	校内に設置されている教育支援センターの充実や新規不登校者数の減少を図るため、学校内に別室登校支援員を配置し、不登校傾向の生徒に対して、自立活動・自学学習・登校援助等を行う。	別室登校支援員と学校現場のスクールサポーター等の多職種が一体となった支援体制を構築すること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	教育委員会 児童生徒課
5	犯罪被害者見舞金について	犯罪被害者に対する支援を充実させるため、新たに犯罪被害者見舞金の補助制度を創設する。	関係機関との連携を十分に図り、制度周知を徹底するとともに、本制度をきっかけとして相談支援につなげられる体制を構築すること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	危機管理課
6	三世代同居・近居支援事業	中古住宅の流通促進や、世代間の助け合いを推進するため実施してきた三世代同居・近居支援事業について事業を終了する。	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティネットづくりについては、地域で助け合えるしくみづくりを促進するよう、関係機関等との連携を図ること。 ・中古住宅の流通促進については、空き家対策の強化等、取組みを引続き進めていくこと。 	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	都市計画推進部 住宅課

番号	案件名	内 容	主な意見	審議結果	部局名
7	市有地利活用による中学校給食事業者誘致事業	市有財産の有効活用に関する新たな発想に立ち、市有地(旧原田学校給食センター跡地)に中学給食事業の委託先(委託期間20年間)となる企業の誘致を行う。本事業により配送コストの削減と委託費の地域経済への還流を図る。	市内地域経済へ事業効果が図れるように講じること。	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進める。	財務部 資産管理課 教育委員会事務局 学校給食課